北里学級だより　NO.7　2022.12.19

たんぽぽ

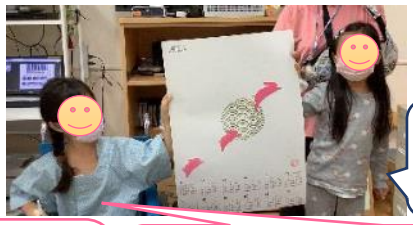
日本の伝統文様・青海波には、「未来永劫と平和な暮らしへの願い」が込められています。

北里学級は、北里大学病院と相模原市教育委員会の協力により 1974 年に開設された、市内唯一の院内学級です。

うさぎと青海波のカレンダーを制作しました

ステンシル版画の技法を使って、カレンダー制作に取り組みました。構図や配色を自分で決め、つくる喜びを味わいました。出来上がったカレンダーは各自持ち帰ったり、病院内でいつもお世話になっている方々にお届けしたりしました。

初めてステンシルをして楽しかったです。（小１　Kさん）



点滴中のHさんがカレンダーを持つのを、Kさんが優しく手伝ってくれました。

できたてホヤホヤのカレンダーをリハビリ室にお届けしました。

また、こうやって、「勉強するのが楽しい」と思うようなのをやりたいです！！（小５　Ｈさん）

位置を決めるのはむずかしかったけど、（ローラーで）印刷するのは楽しかった。（小１　Ｈさん）

自分の考えで自分だけのカレンダーが作れて楽しかったです。（中２　Ａさん）

はみ出さないようにローラーをコントロールするのは、スリルがあって楽しかったです。（中２　Ｈさん）

お家に帰ったら、僕が作ったカレンダーを飾るよ。（小６　Ｓさん）

（ローラーで）色を塗るのが楽しかった。（小5　Ｏさん）

四角い「北里学級」のハンコ押しにも挑戦しました。

ここに居るみんなが幸せで笑顔でいてほしい　Happy♥　Smile everyday

6 階エレベーターホールに飾られているクリスマスツリー

みんなの手作りオーナメント、モール、イルミネーションなどでツリーを飾りました。クリスマスツリー横のベンチで、思い思いの時間を過ごされる方々がたくさんいらっしゃいました。ツリーを見ながら、面会に来たお家の方に「これ、私が作ったの。」とお話した児童もいました。ツリーのトップスターが、今年はひときわ高い位置で輝いています。

中学生が詠む入院川柳には、それぞれの入院生活が凝縮されています。りんごには「生きる喜びと永遠の命をもたらす果実」という意味があるそうです。中学生の入院川柳にも生きる喜びがあふれています。

ペンネームも工夫しています。